

イチキ大工通信

NO. 1

お問合せ

mobile:080 (1059) 1426

mail:info@ichiki-daiku.com

こんにちは！この度くでん学童保育所の建て替えを担当させていただき、イチキ大工と申します。くでん学童の保護者でもあり、建て替えの話を知ってから、学童で毎日過ごす子どもたちのために、自分自身が是非とも協力させていただきたい！という思いで、プロジェクトに参加させていただきました。

今回、保護者の方の承認も受け、工事を進めていくことができますこと、心より感謝申し上げます。これから不定期ではありますが、工事の進捗状況なども含めて、皆さんにお伝えしていけたら

家が建つまで（木組み・土壁の家の場合）

一生の中でも、家を建てるという過程に立ち会えることは、一度あるかないかのことだと思えます。人生の中で貴重な経験となる家の建つ過程に、子どもも大人も共に興味を広げてもらえたら…と思っています。今回は解体後、家が建っていく過程を簡単に紹介します！

①木材の加工

家を建てる時に木を組んでいくため、カンナや鑿（のみ）を使って、材料の加工をしていきます。最近の住宅では、スピード化やコストダウンが重要視されるために、「プレカット」といって機械で予め加工された木を組んでいく方法が主流になってきています。今回は、大工自身が自らの設計図に基づき、自分の手で木を刻み、加工していきます。一本一本の木と向き合いながら作業することで、木ごとのクセや表情も敏感に感じ取れます。また、人の手で行う作業だからこそ機械ではどうしても対応できないことにも、柔軟に取り組みます。今回の工事では、奈良県産の木材を中心に使っていきます。



②基礎

大工が木の加工をしている間に、家を建てる土台となる基礎の工事を行います。

③いよいよ工事開始！

加工した木を組み、家の構造を作っていきます。加工の際に入れた切れ込みを組み合わせていくことで、金物を多く使わずに、木同士で支え合う丈夫な構造を作っていきます。



④上棟

家の棟が上がること（屋根の一番上までの構造が完成すること）を上棟といいます。棟が上がったことを喜び、感謝し、今後の工事も無事進んでいくようお祝いします。そこで、上棟式を行います。



上棟式の餅投げには、袋が必須！みんな必死で餅やお菓子を拾います！



⑤屋根工事

家の構造ができ、屋根を貼ります。一枚一枚木を貼り、その上に今回は板金を貼ります。

⑥小舞編み（壁下地）

家の枠組はできました。さて次は竹で壁の下地になる小舞編みをしていきます。左官職人の素晴らしい技術の見られる時期です。編みあがった小舞はこの時期にしか見られない美しいものです。ぜひ見に来てください！



素晴らしい技術を持った、「左官吉田」の吉田一正さん



編みあがった小舞

⑦土壁塗り

編んだ小舞に、土の他に藁や水を合わせ練って、何度も何度も重ねて塗ります（一枚塗るにも工程がたくさんあります）。何度も重ねて塗ることで、壁が厚くなり、丈夫になります。土壁の種類によって、材料の調合も変わってきます。土壁には、ある程度一定に湿度を保ってくれる特性もあります。壁が土になることで、家ごと呼吸し、通気性の良い家になるのです。

昔の人の知恵によって生み出されたこの工法。日本の風土に合い、理にかなっているのです。

⑧内装工事

床を貼ったり、扉をつけたり、細かい箇所の工事をして完成までの仕上げの工事です。ここまでくると完成のイメージも見えてきて、わくわくしてきます。これまでの工程の間にも、ガス・水道・電気などの工事も入ってきます。一つの家を作るには、大工だけでなくたくさんの技術を持った職人さんが関わっています。それぞれの人



担当大工の紹介



イチキ大工
市来 元己
いちき もとき

神田工務店
神田 泰一
かんだ たいいち

大工の市来です。妻が保育士だったことで、子どもの成長に関心を持つようになり、いつか子どもに関わる建物を建てたいと思っていました。今回、自分の育ってきた地域の学童建替えに携わることができ、大変感謝しています。子どもたち、他の保護者の方とも一緒に、子どもたちにとってより豊かな子ども時代の体験となるよう、心を込めて建てていきたいと思っています。

大工歴15年目、九州出身の神田です。
くでんは大工の修業を積んだゆかりのある場所で、そこで子どもたちが集まる学童保育所の工事に携われることを嬉しくお光栄に思います。
みんなが、泣いたり笑ったり、居心地のいい建物になるよう全力で工事に取り組みます。よろしくお願いいたします。

大人にとっても子どもにとっても、今回の建て替えが良い思い出となるよう、精いっぱい取り組んでいきたいと思っています。

また、工事中お気づきの点や疑問、興味のあることなど、なんでもご相談ください。危険の少ない工事の日には、見学もできますので、いつでもお声がけください。

今後は実際の工事の様子なども発信していきたいと思っています！

*instagram・facebookも更新しています。
ぜひページを覗いてください。



@ichikidaiku2005



@ichiki.daiku

神田工務店

@taiichi6963